

第116回 評議員会・第61回 総 会

日 時 平成18年 5月20日 (土) 13時00分～14時50分
 評議員会 13時00分～14時30分
 総 会 14時30分～14時50分

場 所 東京電機大学神田キャンパス 7号館 1階丹羽ホール

議 案

評議員会 総 会	共通	第1号議案	平成17年度事業報告承認の件
		第2号議案	平成17年度決算承認の件並びに監査報告
		第3号議案	平成18年度事業計画承認の件
		第4号議案	平成18年度予算承認の件
評議員会		第5号議案	理事・監事選出の件
		第6号議案	役職理事承認の件

— ※ —

講演会

時 間 15時00分～16時30分
 場 所 東京電機大学神田キャンパス 7号館 1階丹羽ホール
 講 師 工学博士 佐野彰一氏 (東京電機大学客員教授)
 演 題 「技術者の発想と行動」
 ～ホンダと東京電機大学での45年を振り返って～

懇親会 (立食パーティー)

時 間 16時45分～18時15分
 場 所 東京電機大学神田キャンパス11号館17階大会議室
 会 費 無 料

(講演者プロフィール)

佐野彰一 (さの・しょういち) 1937年 東京生まれ。
 1960年東京大学工学部航空学科卒業, 本田技研入社。技術研究所でF1メキシコGP, イタリアGP優勝車を設計。1972年安全研究部門に移り1987年世界初の四輪操舵を量産化。1991年ホンダASVプロジェクトリーダー。1999年退職。2000年から東京電機大学教授, 工学博士。自動車技術会理事として国際会議パネリスト・議長などを務め国際交流に貢献。米国運輸省から安全技術功労賞, 内閣総理大臣から発明賞, SAEから論文賞, 自動車技術会から技術貢献賞など受賞。

平成17年度事業報告

1. 通常会員の増強

校友会は、言うまでもなく学校法人東京電機大学と緊密に連携を保持しながら会員相互の親睦を深めることを目的としており、そのためにはできるだけ多くの卒業生に会員となっていただくよう努力する必要がある。

そこで、会費切れとなった卒業生に対し、以下の事業を行い、会員拡張に努め、財政の健全化を目指した。

(1) 校友会と会員相互及び卒業生との連携強化

卒業生に対し積極的な広報活動を展開する目的で校友会のホームページのリニューアルを図った。

(2) 会費収入の増加策

従前と同様に会費切れとなった会員や校友会支部総会、学園主催のホームカミングの出席者に対し校友会のPRを行うとともに、会費振込用紙の配布を行い、会員の増員を図った。

(3) 校友会員向けサービスの強化

伊豆長岡に宿泊協定施設を新たに加え会員向けのサービス充実を図った。また、従前と同様に一般社会人、卒業生、在学生を対象として、学園が主催している公開講座等を校友会員が受講する際に優待価格にて受講できるようにすることにより、校友会員への生涯学習の推進を図った。

(4) 斡旋事業

従前と同様に次のことをおこなった。

- ・学園図書館の利用斡旋
- ・学術図書雑誌の購入斡旋
- ・法律、特許相談
- ・学園厚生施設利用斡旋
- ・校友会協定施設利用斡旋
- ・校友会員限定特別割引の斡旋

2. 校友会活動の活性化

(1) 支部活動の活性化

県支部、地方支部の活発な活動が校友会の活性化に繋がると言う考えのもと、ここ数年にわたって新規支部の設立を目指してきた。その結果、長崎県と熊本県の県支部が、平成18年3月4日付け

で新たに設立された。これで未設立の県支部は、東京都と岩手県のみとなった。

平成17年度に開催された総会は次の通りである。

①地方・県支部の総会開催 (22件)

石川県支部 (5月28日)、埼玉県支部 (5月28日)、岐阜県支部 (6月4日)、神奈川県支部 (6月4日)、長野県支部 (6月11日)、千葉県支部 (6月11日)、茨城県支部 (6月18日)、関西支部 (6月25日)、新潟電機 (8月27日)、青森県支部 (8月27日)、福井県支部 (8月28日)、栃木県支部 (10月1日)、福島県支部 (10月15日)、山陰支部 (10月15日)、宮崎県支部 (11月5日)、鹿児島県支部 (11月5日)、新潟中央電機 (11月12日)、佐賀県支部 (11月19日)、三重県支部 (11月26日)、大分県支部 (12月10日)、長崎県支部 (3月4日)、熊本県支部 (3月4日)

②職域(企業)電機会の総会開催 (21件)

春季商工懇話会 (4月23日)、東光電気工事電機 (5月19日)、東管東京東電機 (5月31日)、東管神奈川電機 (6月3日)、教職校友会神奈川支部 (6月17日)、東管支部 (6月23日)、教職校友会 (6月25日)、日本無線電機 (7月20日)、大成建設電機 (7月23日)、鹿島建設電機 (7月25日)、錦央電機 (9月10日)、東管東京北電機 (9月22日)、東管千葉電機 (9月28日)、戸田建設電機 (9月28日)、教職校友会千葉県支部 (10月1日)、秋季商工懇話会 (10月7日)、川北電気工業電機 (10月27日)、関電工電機 (11月25日)、日本電波工業電機 (1月13日)、電磁電機 (1月14日)、三菱電機 (3月18日)

③各同窓会の総会開催 (3件)

大学同窓会 (4月9日)、電機学校同窓会 (4月16日)、中学・高等学校同窓会 (5月14日)

(2) 同窓会活動への支援

大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会の活動に対し、校友会員拡張活動を含め支援した。

(3) 留学生OBとの連携

昨年度に引き続き、本学園の留学生で日本に居住している卒業生と校友会準会員である在学中の留学生との交流会を12月10日(土)に開催した。

留学生の校友会に対する理解を深めると同時に、学園への帰属意識の高揚を図った。

3. 公益法人としての活動

本校友会は、学園の発展に協力すると同時に会員相互の親睦と研修を図る一方で、社団法人として教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする公益法人である。そのため、社会全般に対する公益事業を積極的に実施することが望まれているが、本年度は次の講演会・見学会等の開催・共催を実施した。

(1) 公開講演会関係 (10件)

- ・ 5月28日「半導体材料の応用」平栗健二講師（東京電機大学教授） 埼玉県支部主催
- ・ 6月4日「頭脳を鍛えて豊かな人生をゲットしよう」小谷誠講師（東京電機大学教授） 岐阜県支部主催
- ・ 6月4日「アフガニスタン復興支援での無線網構築活動報告」中西洋史講師 神奈川県支部主催
- ・ 6月11日「外から人間の脳の働きを探る」根本幾講師（東京電機大学教授） 千葉県支部主催
- ・ 6月18日「科学技術と東京電機大学の将来」原島文雄講師（東京電機大学学長） 茨城県支部主催
- ・ 6月25日「長寿の道は自立・自尊」河村剛史講師（河村循環器クリニック院長） 関西支部主催
- ・ 7月9日「脳を上手に育て鍛え幸せな人生を」小谷誠講師（東京電機大学教授） 神奈川県支部主催
- ・ 10月1日「気功の話」町好雄講師（東京電機大学教授） 栃木県支部主催
- ・ 11月26日「気功による健康法」町好雄講師（東京電機大学教授） 三重県支部主催
- ・ 11月26日「ネットワーク技術の現状と将来動向」宮保憲治講師（東京電機大学教授） 神奈川県支部主催

(2) 見学会関係 (7件)

- ・ 5月29日「家族ぐるみ見学会」93名 商工懇話会主催
- ・ 9月9日「愛！！地球博 夢とロマンの未来の旅」40名 校友会主催

- ・ 10月23日「富士山レーダードーム館」43名 電機学校同窓会主催
- ・ 10月29日「山梨県立リニア見学センター&万寿園&ぶどう狩り」79名 校友会主催
- ・ 11月26日「千葉ニュータウンキャンパス」21名 神奈川県支部主催
- ・ 3月4日「NBC長崎放送本社」31名 長崎県支部主催
- ・ 3月28日「東京電機大学電磁実験室」51名 東管支部（技術研修会）主催

(3) 協賛した事業 (6件)

- ・ ME講座 全10回開催（学園：エクステンションセンター主催）
- ・ マセマティカ講座 年2回開催（学園：エクステンションセンター主催）
- ・ 第8回オーケストラを楽しもう（理工学部主催）
- ・ 環境フォーラム 新規開催（理工学部主催）
- ・ ロボット工作教室 年4回開催（学園：エクステンションセンター主催）
- ・ 大学院博士・修士論文発表会（工学研究科主催）

4. 校友会創立100周年記念事業

校友会は、明治42年の発足以来、平成21年に創立100周年を迎える。昨年に引き続き校友会創立100周年記念事業・行事（年史、祝賀会、式典等）に備えて準備金（200万円）の積立を行った。その結果、平成17年度末現在で積立金額は、600万円となった。

5. 学園創立100周年記念事業への協力

学園は、明治40年9月に電機学校として設立され、平成19年9月11日には創立100周年を迎えることになる。学園創立の記念となる周期の年には、従来より校友会から学園の記念事業への援助を実施しており、今回も学園創立100周年にあたっての援助金（100万円）の積立を行った。その結果、平成17年度末現在の積立金額は、300万円となった。

また、学園との共催事業を検討し平成18年9月より全国6会場にて特別記念講演を展開することとなった。

6. 学園との連携強化

(1) 学生募集の支援

進学適齢人口の減少は急速に進行しつつあり、本学においても教育研究の特色化、個性化をはかり、また学部再編成等により社会への要求に応えようと努めているところである。

校友会としては、そのような状況を踏まえて、学園の広報・推薦入試等、学生募集の支援を行った。

(2) 経営同友会への協力

経営同友会は本学園と産業界で活躍されている校友の方々との間に産学協同ネットワークを構築し、会員企業、学園並びに校友の発展を目指すことを目的に設立された組織である。

校友会では、学園、校友との連携の重要性に鑑みて、経営同友会の運営に協力した。

以上

平成17年度決算並びに監査報告

平成17年度収支計算書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

一般会計

(単位：円)

科 目	入 入 の 部		
	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 会 費 収 入	67,440,000	65,967,300	1,472,700
通常会員会費収入	9,000,000	9,300,900	△300,900
予納会員会費収入	58,440,000	56,666,400	1,773,600
2. 運 用 財 産 収 入	10,200,000	10,226,476	△26,476
受取利息配当金収入	200,000	226,476	△26,476
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
3. 寄 付 金 収 入	3,050,000	3,874,720	△824,720
広告寄付金収入	2,500,000	3,255,000	△755,000
その他寄付金収入	550,000	619,720	△69,720
4. 雑 収 入	430,000	7,455,809	△7,025,809
見学・講演会収入	400,000	592,000	△192,000
※その他収入	30,000	6,863,809	△6,833,809
5. 特 定 資 産 取 崩 収 入	3,000,000	3,000,000	0
事業積立金特定資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
当 期 収 入 合 計	84,120,000	90,524,305	△6,404,305
前 期 繰 越 収 支 差 額	21,733,158	21,733,158	0
収 入 合 計	105,853,158	112,257,463	△6,404,305

※その他収入…学園から工学情報発行・発送にかかわる補助
含む

科 目	支 出 の 部		
	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 事 業 費	59,515,000	59,211,480	303,520
会 報 発 行 費	21,800,000	26,213,184	△4,413,184
名 簿 管 理 費	7,987,000	6,980,525	1,006,475
Web情報発信サービス	1,360,000	997,500	362,500
支 部 援 助 費	13,100,000	11,375,614	1,724,386
そ の 他 事 業 費	2,328,000	2,478,257	△150,257
同 窓 会 援 助 費	12,940,000	11,166,400	1,773,600
2. 管 理 費	20,605,000	18,226,309	2,378,691
給 与 手 当	6,000,000	6,462,250	△462,250
委 託 費	6,100,000	5,072,925	1,027,075
慶 弔 費	300,000	154,500	145,500
旅 費 交 通 費	150,000	57,280	92,720
会 議 費	4,855,000	3,361,787	1,493,213
通 信 運 搬 費	950,000	1,101,195	△151,195
印 刷 製 本 費	200,000	170,415	29,585
賃 借 料	700,000	649,152	50,848
消 耗 品 費	1,000,000	879,875	120,125
雑 費	350,000	316,930	33,070
3. 特 定 資 産 繰 入 支 出	3,000,000	3,000,000	0
校友会100周年積立金繰入支出	2,000,000	2,000,000	0
学園100周年積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0
4. 予 備 費	1,000,000	0	1,000,000
当 期 支 出 合 計	84,120,000	80,437,789	3,682,211
当 期 収 支 差 額	0	10,086,516	△10,086,516
次 期 繰 越 収 支 差 額	21,733,158	31,819,674	△10,086,516

学校預託金の内訳

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	期首残高	増 加	減 少	期末残高
準会員学校預託金	238,552,800	69,702,000	69,644,000	238,610,800
正会員学校預託金	481,393,056	64,044,000	56,666,400	488,770,656

(第2号議案関連)

貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

一 般 会 計		(単位：円)	
科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,635,674		
未収入金	604,000		
流動資産合計		32,239,674	
2. 固定資産			
基本資産			
金銭信託預金	2,000,000		
基本財産合計	2,000,000		
その他の固定資産			
器具備品	4,914,368		
器具備品減価償却累計額	△4,132,452		
準会員学校預託金	238,610,800		
正会員学校預託金	488,770,656		
事業積立特定資産	17,024,657		
通常会員会費特定資産	24,200,000		
校友会100周年積立金	6,000,000		
学園100周年積立金	3,000,000		
有価証券	2,430,830		
その他の固定資産合計	780,818,859		
固定資産合計		782,818,859	
資産合計			815,058,533
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	380,000		
源泉預り金	40,000		
流動負債合計		420,000	
2. 固定負債			
準会員前受金	238,610,800		
正会員前受金	488,770,656		
固定負債合計		727,381,456	
負債合計			727,801,456
III. 正味財産の部			
正味財産			87,257,077
(うち基本金)			(2,000,000)
(うち当期正味財産増加額)			(9,400,121)
負債及び正味財産合計			815,058,533

(第2号議案関連)

正味財産増減計算書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:円)

一 般 会 計

増 加 原 因 の 部	
科 目	金 額
会費収入	65,967,300
通常会員会費収入	9,300,900
予納会員会費収入	56,666,400
運用財産収入	10,226,476
受取利息配当金収入	226,476
預託金運用収入	10,000,000
寄付金収入	3,874,720
広告寄付金収入	3,255,000
その他寄付金収入	619,720
雑収入	7,455,809
見学・講演会収入	592,000
その他収入	6,863,809
増加原因の部合計	87,524,305

減 少 原 因 の 部	
科 目	金 額
事業費	59,211,480
会報発行費	26,213,184
名簿管理費	6,980,525
支部援助費	11,375,614
その他事業費	2,478,257
同窓会援助費	11,166,400
Web情報発信サービス	997,500
管理費	18,226,309
給 与 手 当	6,462,250
委 託 費	5,072,925
慶 弔 費	154,500
旅 費 交 通 費	57,280
会 議 費	3,361,787
通 信 運 搬 費	1,101,195
印 刷 製 本 費	170,415
賃 借 料	649,152
消 耗 品 費	879,875
雑 費	316,930
減価償却額	686,395
減少原因の部合計	78,124,184
当期正味財産増加額	9,400,121
前期繰越正味財産額	77,856,956
期末正味財産合計額	87,257,077

財 産 目 録

(平成18年3月31日現在)

一 般 会 計

(単位:円)

資 産 の 部	
科 目	金 額
I 基本財産	2,000,000
住友信託銀行貸付信託	2,000,000
II 運用財産	813,058,533
1. 流動資産	32,239,674
(1)現金預金	31,635,674
(2)未収入金	604,000
2. 固定資産	780,818,859
(1)学校預託金	727,381,456
準会員学校預託金	238,610,800
正会員学校預託金	488,770,656
(2)事業積立特定資産	17,024,657
(3)通常会員会費特定資産	24,200,000
(4)校友会100周年積立金	6,000,000
(5)学園100周年積立金	3,000,000
(6)器具備品	781,916
(7)有価証券	2,430,830
資 産 合 計	815,058,533

負 債 の 部	
科 目	金 額
I 流動負債	420,000
(1)未払費用	380,000
(2)源泉預り金	40,000
II 固定負債	727,381,456
(1)学校預託金	727,381,456
準会員前受金	238,610,800
正会員前受金	488,770,656
負 債 合 計	727,801,456
正 味 財 産	87,257,077
総 計	815,058,533

監査結果

1. 当法人の財産管理は正確である。
2. 理事の業務執行は適法である。

平成18年4月11日

監事 峯 澤 意 卓 ㊞
 小 長 谷 登 ㊞
 窪 田 輝 巳 ㊞

(第2号議案関連)

準会員事業基金収支計算書
(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 運用財産収入	10,500,000	10,541,110	△41,110
2. 奨学金返済収入	4,000,000	4,596,030	△596,030
3. 預託金繰入収入	5,600,000	5,600,000	0
当期収入合計	20,100,000	20,737,140	△637,140
前期繰越収支差額	3,616,088	3,616,088	0
収 入 合 計	23,716,088	24,353,228	△637,140

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 事業費	13,500,000	12,283,862	1,216,138
クラブ活動補助費	4,350,000	4,060,249	289,751
全学行事補助費	4,350,000	3,766,222	583,778
卒入学記念品費	2,500,000	2,597,321	△97,321
卒論発表会・就職セミナー	300,000	50,000	250,000
工学情報分担金	2,000,000	1,810,070	189,930
2. 管理費	100,000	70,139	29,861
雑費	100,000	70,139	29,861
3. 奨学金貸付支出	5,500,000	3,761,800	1,738,200
4. 特定資産繰入支出	0	12,655	△12,655
5. 予備費	1,000,000	0	1,000,000
当期支出合計	20,100,000	16,128,456	3,971,544
当期収支差額	0	4,608,684	△4,608,684
次期繰越収支差額	3,616,088	8,224,772	△4,608,684

準会員事業基金貸借対照表
(平成18年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	8,224,772
流動資産合計	8,224,772
2. 固定資産	
その他の固定資産	
奨学貸付金	22,974,396
準会員事業基金	84,652,331
その他の固定資産合計	107,626,727
固定資産合計	107,626,727
資産合計	115,851,499
II. 負債の部	
1. 流動負債	
2. 固定負債	
III. 正味財産の部	
正味財産	115,851,499
(うち当期正味財産増加額)	(3,787,109)
負債及び正味財産合計	115,851,499

準会員事業基金正味財産増減計算書
(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額
I. 増加原因の部	
運用財産収入	10,541,110
基金利息収入	541,110
預託金運用収入	10,000,000
預託金繰入収入	5,600,000
増加原因の部合計	16,141,110
II. 減少原因の部	
事業費	
クラブ活動補助費	4,060,249
全学行事補助費	3,766,222
卒入学記念品費	2,597,321
卒論発表会・就職セミナー	50,000
工学情報分担金	1,810,070
管理費	
雑費	70,139
減少原因の部合計	12,354,001
当期正味財産増加額	3,787,109
前期繰越正味財産額	112,064,390
期末正味財産合計額	115,851,499

準会員事業基金財産目録

(平成18年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部	
科 目	金 額
I 運用財産	
1. 流動資産	8,224,772
(1)現金預金	8,224,772
2. その他の固定資産	107,626,727
(1)奨学金貸付 54名	22,974,396
(2)準会員事業基金	84,652,331
資 産 合 計	115,851,499

負 債 の 部	
科 目	金 額
正 味 財 産	115,851,499
負 債 合 計	115,851,499

(評議員会・総会共通 第3号議案)

平成18年度事業計画

学園創立100周年記念事業も着々と進み、いよいよ神田キャンパス再整備計画も具現化する年を迎えます。また、学園創立100周年の2年後（平成21年）には、社団法人東京電機大学校友会も創立100周年を迎えることとなります。

平成18年度は、特に学園創立100周年記念募金並びに記念事業に対する支援、協力を推進すると共に、校友会員に対するサービス向上に努め、校友会員（通常会員）の増強を目的に事業計画を策定致します。

1. 通常会員の増強について

校友会は、学園と緊密に連携を保持しながら会員相互の親睦を深めることを目的としており、そのためにはできるだけ多くの卒業生に校友会員となっていただくよう努力しなければならない。

ついては、会費切れ卒業生に対し、次のような事業を積極的に展開し、会員拡張に努め、財政の健全化を図る。

(1) 校友会と会員相互及び卒業生との連携強化

本年度より校友会のホームページが新しくなり、新着情報管理ツールを付加して、トップページなどで紹介する What's New やイベント情報など日々変化する情報を常に更新して情報提供ができるようになった。

本年度は更に以下のツールを付加しホームページの機能充実を図り、卒業生に対し積極的な広報活動や会員サービスを展開する。

a. 情報更新ツール

商品紹介や実績紹介、クラス会の開催や報告、見学会の開催や報告など様々な情報を一覧にして詳細に表示する。

b. ショッピングカートツール

情報更新ツールと組み合わせて、オンラインショッピングができるようにする。

(2) 会費収入の増加策

新たに組織管理委員会を設置し、委員会で会員増強策等を検討する。検討事項は次の通りである。

- 卒業年次生に対する校友会活動の広報並びに校友会費の仕組み
- 予納会員に対する校友会事業・校友会活動・会員サービスなどの方策
- 予納会員から通常会員への移行を円滑にする方策
- 会費切れの卒業生に対して会員継続の方策
- 校友会支部総会・学園主催のホームカミングの出席者に対する方策
- その他会員増強策に必要と思われる事項

(3) 職域電機会の新規設立

卒業生50名以上が勤務する企業に対し、電機会設立の要請を積極的に展開する。

2. 校友会員に対するサービスの充実について

これまでの各種サービスを見直し、会員にとって魅力あるサービスを展開する。

- 会員向けの施設利用補助金額を見直し、会員の特典をさらに充実する。
- 各種優待サービスや料金割引サービスの提

供が可能な協力店及び施設や企業等の開拓を図り会員登録のメリット増に努める。

- (3) 一般社会人、卒業生、在学学生を対象に、学園が主催している公開講座等を校友会会員が受講する際に、優待価格で受講できるようにし、校友会員の生涯学習の推進を図る。

(4) 斡旋事業

- a. 学園図書館の利用斡旋
- b. 学術図書雑誌の購入斡旋
- c. 法律、特許相談の斡旋
- d. 学園厚生施設利用斡旋
- e. 校友会協定施設利用斡旋
- f. 校友会員限定特別割引の斡旋

(5) 校友会会員証の検討

過去において会員証の発行を検討したが、実現までには至らなかった。今後は、過去に検討した内容について、再度検証し校友会会員証の発行を検討する。

(6) 校友会員へのメールアドレスの発行を検討

校友会員へのサービスの一つとしてメールアドレス発行の可能性を検討し、開催通知などの郵送費の削減化を目指す。

3. 校友会活動の活性化

校友会員向けの活動として以下の事業を行う。

(1) 支部活動の活性化

県支部、地方支部の活発な活動が校友会の活性化に繋がると言う考えのもと、ここ数年にわたって支部の設立を展開し、平成18年3月4日に長崎県支部並びに熊本県支部の設立総会が開催された。

これにより全国で支部のない県は、岩手県のみとなる。今後も引続き支部設立に向けて積極的な活動をする。

(2) 同窓会活動への支援

大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会の活動に対し支援並びに協力する。

(3) 職域電機会の活性化

職域電機会の積極的な活動を支援すると共に、県支部との緊密な連携を保持し会員相互の親睦を深めると共に職域電機会について校友会内規を検討する。

(4) 留学生 OB との連携

昨年度に引き続き、本学園の留学生で日本に住んでいる卒業生と校友会準会員である在学中の留学生との交流会を開催する。これを通じて、留学生の校友会に対する理解を深めると同時に、海外支部の拠点作りの準備を行い学園への帰属意識の高揚を図る。

4. 公益法人としての活動

本校友会は、学園の発展に協力すると同時に、会員相互の親睦と研修を図る一方で、社団法人として教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする公益法人である。

については、社会全般に対する公益事業を積極的に実施するため、以下の講演会・見学会等の開催・共催を実施する。

- (1) 公開講演会の主催、共催、後援（地方会場での開催を含む）

- (2) 見学会の主催、共催、後援

特に毎年実施している校友会主催の見学会は、事業計画内容をさらに充実し、工学情報や校友会ホームページを介して、校友会員に広報すると共に、学園創立100周年特別企画として事業活動を展開する。

- (3) 学園主催の公開講座（ME 講座、マセマテイカ講座、ロボット製作講座等）の協賛

- (4) 大学院博士・修士論文発表会協賛

- (5) その他事業への支援

5. 校友会創立100周年記念事業

校友会は、明治42年の発足以来、平成21年に創立100周年を迎える記念事業として以下の事業を推進する。

- (1) 校友会創立100周年記念事業・行事（年史、祝賀会、式典等）の計画・立案と推進を図る。

- (2) 昨年度に引き続き、記念事業に備えて準備金の積立を行う。

6. 学園創立100周年記念事業への協力

学園は、明治40年9月に電機学校として設立され、平成19年9月11日には創立100周年を迎えることになる。従来も校友会から学園の周年記念事業へは寄付協力援助を実施しており、今回も学園

創立100周年にあたって下記の事業を行うと共に、卒業生に課せられた寄付金の目標達成に協力する。

- (1) 学園創立100周年記念事業にあたって、昨年度に引き続き、援助金の積立を行う。
- (2) 学園創立100周年記念事業に対し、創立100周年に相応しい事業が実施できるよう卒業生向けの募金活動を総会、支部総会、全国支部長会や職域電機協会会長会等を通じ、積極的に協力要請を行う。
- (3) 学園創立100周年記念事業として、学園と卒業生・企業との連携強化を推進するために、かねてから検討途上にあつて、懸案事項である電子メールを利用した情報発信サービスについて、学園側との協議機関を設け実施を検討する。
- (4) 学園創立100周年記念講演の実施

学園・後援会・校友会との共催で、次の全国6会場において学園創立100周年記念公開講演を展開する。

また、公開記念講演の開催に合わせて支部総会並びに父母懇談会を開催していただくと共に、卒業生及び在学生のご父母に対し学園創立100周年記念募金活動への協力を要請する。

- 札幌 平成18年9月23日(土)
ホテルニューオータニ札幌
- 仙台 平成18年10月21日(土)
KKR ホテル仙台
- 新潟 平成18年10月28日(土)
新潟ワシントンホテル

- 高崎 平成18年10月29日(日)
高崎サンパレス
- 福岡 平成18年11月26日(日)
博多エクセルホテル東急
- 名古屋 平成18年12月3日(日)
ホテル名古屋ガーデンパレス

7. 学園との連携強化

学園の活動に対し側面からバックアップするため、以下の事業を行う。

(1) 学生募集の支援

進学適齢人口の減少は急速に進行しつつあり、学園においても学部・学科の再編成し教育研究の特色化、個性化をはかり、社会への要求に応えようと努めているところである。

校友会としては、そのような状況を踏まえて、学園(入試センター)と調整を図り、推薦入試等、学生募集を支援する。

(2) 経営同友会の運営に協力

経営同友会は本学園と産業界で活躍されている校友の方々との間に産学協同ネットワークを構築し、会員企業、学園並びに校友の発展を目指すことを目的に設立された組織である。

校友会では、学園、校友との連携の重要性に鑑みて、学園の産官学交流センターと共に経営同友会の運営に協力する。

平成18年度予算

平成18年度収支予算書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

一般会計

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 会費収入	74,160,000	67,440,000	6,720,000
通常会員会費収入	12,000,000	9,000,000	3,000,000
予納会員会費収入	62,160,000	58,440,000	3,720,000
2. 運用財産収入	10,200,000	10,200,000	0
受取利息配当金収入	200,000	200,000	0
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
3. 寄付金収入	2,650,000	3,050,000	△400,000
広告寄付金収入	2,000,000	2,500,000	△500,000
その他収入	650,000	550,000	100,000
4. 雑収入	505,000	430,000	75,000
見学・講演会収入	500,000	400,000	100,000
その他収入	5,000	30,000	△25,000
5. 特定資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
事業積立金特定資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
当期収入合計	90,515,000	84,120,000	6,395,000
前期繰越収支差額	31,819,674	21,733,158	10,086,516
収入合計	122,334,674	105,853,158	16,481,516

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 事業費	60,015,000	59,515,000	500,000
会報発行費	20,720,000	21,800,000	△1,080,000
名簿管理費	7,100,000	7,987,000	△887,000
Web情報発信サービス	1,255,000	1,360,000	△105,000
支部援助費	14,800,000	13,100,000	1,700,000
その他事業費	3,600,000	2,328,000	1,272,000
同窓会援助費	12,540,000	12,940,000	△400,000
2. 管理費	23,500,000	20,605,000	2,895,000
給料手当	6,300,000	6,000,000	300,000
委託費	6,100,000	6,100,000	0
慶弔費	300,000	300,000	0
旅費交通費	150,000	150,000	0
会議費	4,850,000	4,855,000	△5,000
通信運搬費	2,400,000	950,000	1,450,000
印刷製本費	200,000	200,000	0
賃借料	850,000	700,000	150,000
消耗品費	1,700,000	1,000,000	700,000
雑費	650,000	350,000	300,000
5. 特定資産繰入支出	18,000,000	3,000,000	15,000,000
事業積立特定資産繰入支出	12,000,000	0	12,000,000
通常会員会費特定資産繰入支出	3,000,000	0	3,000,000
校友会100周年積立金繰入支出	2,000,000	2,000,000	0
学園100周年積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0
4. 予備費	1,000,000	1,000,000	0
当期支出合計	102,515,000	84,120,000	18,395,000
次期繰越収支差額	19,819,674	21,733,158	△1,913,484
支出合計	122,334,674	105,853,158	16,481,516

学校預託金の内訳

(平成18年3月末日参照)

	期首残高	増加	減少	期末残高
準会員会費学校預託金	238,552,800	71,000,000	70,000,000	239,552,800
正会員会費学校預託金	481,393,056	64,000,000	62,160,000	483,233,056

(第4号議案関連)

準会員事業基金収支予算書
(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 運用財産収入	10,500,000	10,500,000	0
基金利息収入	500,000	500,000	0
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
2. 奨学金返済収入	4,000,000	4,000,000	0
3. 預託金繰入収入	6,000,000	5,600,000	400,000
当期収入合計	20,500,000	20,100,000	400,000
前期繰越収支差額	0	3,616,088	△3,616,088
収入合計	20,500,000	23,716,088	△3,216,088

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 事業費	13,500,000	13,500,000	0
クラブ活動補助費	4,350,000	4,350,000	0
全学行事補助費	4,350,000	4,350,000	0
卒入学記念品費	2,500,000	2,500,000	0
卒論発表会・就職セミナー等援助	300,000	300,000	0
工学情報分担金	2,000,000	2,000,000	0
2. 管理費	100,000	100,000	0
雑費	100,000	100,000	0
3. 奨学金貸付支出	5,500,000	5,500,000	0
4. 特定資産繰入支出	0	0	0
5. 予備費	1,400,000	1,000,000	400,000
当期支出合計	20,500,000	20,100,000	400,000
当期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	3,616,088	△3,616,088
支出合計	20,500,000	23,716,088	△3,216,088

(評議員会 第5号議案)

理事・監事の候補者推薦について

【定款第13条第1項第一号理事，第16条監事】

1. 候補者推薦母体（施行細則第3条）

候補者の推薦は，定款施行細則第3条の定めるところにより以下のとおり

①同窓会並びに支部・電機会

②理事会

2. 推薦状況

		①同窓会 並びに電機会	②理事会	備考
推薦母体数		115件	1件	
回答数	総数	60件	1件	理事9名， 監事1名
	候補者指名	5件	1件	
	理事会一任	55件	……	

3. 第611回定例理事会（5月9日開催）決定事項

候補者が監事改選については定数どおり1名であるが，理事改選については，8名に対し9名と定数を上回ったため，慎重審議の結果，評議員会には右記のとおり提案することを決定した。

評議員会における理事・監事の選出について

- ①候補者各位の心情等を配慮し，氏名は公表せず人数のみとする。
- ②理事・監事選考委員会を設置し，当委員会に選考を委ね，その結果を評議員会に報告し承認を得る。
- ③理事・監事選考委員会の構成は，次のとおりとする。各校(大学・短大・中学・高等学校，電機学校)卒業生より各々2名，並びに議長，理事長，常務理事の合計9名とする。
- ④各校卒業生の選考委員は同窓会を通じて当日までに選出依頼し，評議員会において承認を得る。

(評議員会 第6号議案)

役職理事の推薦について

【定款第13条第1項第二号理事】

1. 平成18年5月9日開催第611回定例理事会において推薦された理事

向芝京太（中学・高等学校生活指導部長）

会務報告（概要）

1. 定例理事会

（議事録：「工学情報」に順次掲載済）

第602回・平成17年4月19日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 平成16年度決算の承認並びに監査報告について
- 議題3. 平成16年度事業報告の承認について
- 議題4. 平成17年度事業計画（見学会等）について
- 議題5. 評議員・理事・監事選出スケジュールについて

第603回・平成17年5月17日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 平成17・18年度評議員候補者について
- 議題3. 第114回評議員会・第60回総会について
- 議題4. 平成17年度会議予定について

第604回・平成17年6月21日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 第115回評議員会について
- 議題3. 平成17年度理事・監事候補者の推薦及び就任日について
- 議題4. 職域電機会の新規設立について
- 議題5. 表彰について

第605回・平成17年8月1日（月）

- 議題1. 正・副理事長の選出について
- 議題2. 委員会並びに業務分担について
- 議題3. 平成17年度支部長会開催について

第606回・平成17年9月6日（火）

- 議題1. 前々回議事録の承認
- 議題2. 前回議事録の承認
- 議題3. 全国支部長会の開催について
- 議題4. 職域電機会の新規設立について
- 議題5. 参与の委嘱について

第607回・平成17年10月25日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 平成17年度上半期収支状況並びに監査報告
- 議題3. 職域電機会長会の実施について
- 議題4. 年末役員懇談会の実施について
- 議題5. 新規旅館との協定締結について（伊豆長岡）
- 議題6. 平成17年度事業計画の実行担当について
- 議題7. 理工学部主催「環境フォーラム2005」への協賛について

第608回・平成17年12月6日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 校友会ホームページのリニューアルについて
- 議題3. 平成18年度校友会年間会議予定について
- 議題4. 留学生交流会の開催について
- 議題5. 職域電機会長会の実施について
- 議題6. 校友会理事会・委員会開催時の車代と夕食の準備について

第609回・平成18年2月21日（火）

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 平成18年度事業計画案について
- 議題3. 平成18年度予算案について
- 議題4. 長崎県支部・熊本県支部の新規設立について
- 議題5. 評議員会・総会時の講演会講師について
- 議題6. 学園創立100周年記念講演会の開催に対する協力について

2. 評議員会・総会

（議事録：「工学情報」に掲載済）

第114回 評議員会 平成17年5月21日（土）

第60回 総会 平成17年5月21日（土）

第115回 評議員会 平成17年7月16日（土）

3. 各委員会（省略）

各校卒業者（住所判明者）並びに校友会員数

（平成18年3月31日現在）

	電機学校	中学・高校	大学・短大	合計
住所判明者	5,559	11,080	61,092	77,731
会 員 数	1,021	2,086	25,952	29,059

（備考）会員数＝会員台帳による数。最終卒業をもって正会員登録。

地 方 別 内 訳

（平成18年3月31日現在）

県 名	住所判明者	会員数	県 名	住所判明者	会員数	県 名	住所判明者	会員数
北海道	497	176	福 井 県	100	39	山 口 県	156	49
青 森 県	184	77	山 梨 県	694	294	徳 島 県	123	41
岩 手 県	241	76	長 野 県	1,424	492	香 川 県	153	55
宮 城 県	439	177	岐 阜 県	263	84	愛 媛 県	139	49
秋 田 県	216	68	静 岡 県	2,056	714	高 知 県	116	40
山 形 県	219	89	愛 知 県	828	260	福 岡 県	334	125
福 島 県	566	239	三 重 県	237	72	佐 賀 県	72	19
茨 城 県	2,470	970	滋 賀 県	82	25	長 崎 県	129	47
栃 木 県	1,426	561	京 都 府	121	55	熊 本 県	109	47
群 馬 県	1,443	616	大 阪 府	302	110	大 分 県	128	64
埼 玉 県	16,079	6,601	兵 庫 県	335	106	宮 崎 県	119	39
千 葉 県	9,374	3,837	奈 良 県	72	19	鹿 児 島 県	136	44
東 京 都	23,375	8,484	和 歌 山 県	65	16	沖 縄 県	135	44
神 奈 川 県	10,130	3,258	鳥 取 県	51	19	そ の 他	134	25
新 潟 県	886	324	鳥 根 県	60	24			
富 山 県	687	210	岡 山 県	165	49	合 計	77,731	29,059
石 川 県	290	93	広 島 県	371	137			

平成17年度開催 総会・クラス会

開催日	名 称	開催日	名 称
17. 4. 2	大学 S 39 工学部第一部電気工学科卒クラス会	9. 28	戸田建設電機会総会
◇ 9	高校 S 29 定時制電気科電気機器課程卒クラス会	◇ 29	大学 S 32 工学部第一部電気工学科卒クラス会
◇ ◇	大学同窓会総会	◇ ◇	高校 S 26 全日制電気科電気機器課程卒クラス会
◇ ◇	大学 S 27～H 5 工学部第一部・第二部電気通信工学科・H 6～17 工学部第一部・第二部情報通信工学科卒合同クラス会	10. 1	栃木県支部総会
◇ 16	電機学校同窓会総会	◇ ◇	大学 S 42 工学部第一部機械工学科卒クラス会
◇ 23	工専 S 16～26 電気科・S 23～26 電気通信科卒合同クラス会	◇ ◇	大学 S 33 工学部第一部電気工学科・電気通信工学科・工学部第二 部電気工学科卒クラス会
◇ ◇	商工懇話会春季総会	◇ ◇	高校 S 37 定時制電気科電力課程卒クラス会
◇ ◇	高校 S 36 全日制普通科1組卒クラス会	◇ ◇	教職校友会千葉県支部総会
◇ 30	高校 H 3 全日制電子科1組卒クラス会	◇ ◇	高校 S 43 全日制普通科2組卒クラス会
5. 14	中学・高等学校同窓会総会	◇ 7	商工懇話会秋季総会
◇ ◇	大学 S 36 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会	◇ 8	高校 S 44 定時制電気科・電子科卒合同クラス会
◇ ◇	大学 S 36 工学部第一部電気工学科卒クラス会	◇ 15	山陰支部総会
◇ 15	高校 S 27 定時制電気科電力課程1組～2組・電気科電気機器課 程・電気科電気通信課程卒合同クラス会	◇ ◇	福島県支部総会
◇ 18	一工 S 23 第1本科電気科卒クラス会	◇ 16	工専 S 24 電気科卒クラス会
◇ 19	東光電気工事電機会総会	◇ 21	二工 S 24 第1本科電気科4組卒クラス会
◇ 21	校友会第114回評議員会・第60回総会	◇ 22	大学 S 35 工学部第一部電気工学科・電気通信工学科卒合同クラス 会
◇ 22	高校 S 27 全日制電気科電力課程3組卒クラス会	◇ ◇	一工 S 20 第2本科電気科卒クラス会
◇ 23	大学 S 31 工学部第一部電気工学科卒クラス会	◇ ◇	高校 H 16 全日制普通科1組～3組卒合同クラス会
◇ 28	石川県支部総会	◇ 26	工専 S 26 電気科卒クラス会
◇ ◇	高校 S 26 定時制電気科電力課程2組卒クラス会	◇ 27	川北電気工業電機会総会
◇ ◇	埼玉県支部総会	◇ 28	大学 S 36 工学部第二部電気工学科卒クラス会
◇ 30	大学 S 34 工学部第一部電気工学科卒クラス会	◇ 30	大学 S 46 工学部第二部電気工学科卒クラス会
◇ 31	東管支部東京東電機会総会	11. 5	宮崎県支部・鹿児島県支部合同総会
6. 1	大学 S 31 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会	◇ ◇	高校 H 3 全日制普通科3組卒クラス会
◇ 3	東管支部神奈川電機会総会	◇ ◇	大学 H 2～H 14 理工学部応用電子工学科・H 15～H 17 理工学部 電子情報工学科卒合同クラス会
◇ 4	短大卒業生の会(縦の会)総会	◇ 11	高校 S 34 全日制電気科電気機器課程卒クラス会
◇ ◇	岐阜県支部総会	◇ 12	新潟県中央電機会総会
◇ ◇	神奈川県支部総会	◇ 19	佐賀県支部総会
◇ 11	長野県支部総会	◇ ◇	高校 S 35 全日制電気科電気計測課程卒クラス会
◇ ◇	千葉県支部総会	◇ ◇	短大 S 33 電気科卒クラス会
◇ 17	教職校友会神奈川県支部総会	◇ ◇	高校 S 45 定時制電気科・定時制電子科卒合同クラス会
◇ 18	工学部建築学科縦の会(ABUの会)	◇ 20	二工 S 24 第1本科電気科卒クラス会
◇ ◇	大学 S 55 工学部第一部建築学科卒クラス会	◇ 21	高校 S 31 全日制電気科電気計測課程卒クラス会
◇ ◇	茨城県支部総会	◇ 23	短大 S 34 電気科卒クラス会
◇ ◇	大学 S 40 工学部第一部電子工学科卒クラス会	◇ 25	関電工電機会総会
◇ 23	東管支部総会	◇ ◇	一工 S 18 第1本科電気科卒クラス会
◇ 25	高校 S 34 全日制電気科電力課程2組卒クラス会	◇ 26	三重県支部総会
◇ ◇	関西支部総会	◇ ◇	大学 S 56～H 14 理工学部建設工学科卒・H 15～H 17 理工学部建 設環境工学科卒合同クラス会
◇ ◇	教職校友会総会	◇ ◇	高校 S 35 全日制電気科電力課程2組卒クラス会
7. 7	工専 S 23 電気科卒クラス会	◇ ◇	高校 S 34 全日制電気科電気通信課程2組卒クラス会
◇ 16	校友会第115回評議員会	◇ ◇	高校 H 17 全日制普通科10組卒クラス会
◇ ◇	高校 S 26 全日制電気科通信課程卒クラス会	◇ 10	大分県支部総会
◇ 20	日本無線電機会総会	◇ 13	高校 S 41 定時制電気科電力課程1組卒クラス会
◇ 23	大成建設電機会総会	◇ 17	大学 S 41 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
◇ ◇	高校 S 42 全日制普通科2組卒クラス会	◇ 21	大学 S 40 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
◇ ◇	工専 S 25 電気科・大学 S 27 工学部第一部電気工学科卒合同クラス 会	18. 1. 28	高校 S 42 全日制電子科2組卒クラス会
◇ 25	鹿島錦会総会	◇ ◇	短大 S 35 電気科卒・大学 S 38 工学部第二部電気工学科卒合同ク ラス会
8. 13	大学 H 4 理工学部建設工学科卒クラス会	2. 18	高校 S 48 全日制電子科1組卒クラス会
◇ 27	青森県支部総会	◇ 19	大学 S 31 工学部第二部電気工学科卒クラス会
◇ ◇	新潟電機会総会	3. 4	長崎県支部総会
◇ 28	福井県支部総会	◇ ◇	熊本県支部総会
9. 2	電機学校 S 27 (9月)夜間部高等科通信科卒クラス会	◇ ◇	大学 S 60 工学部第一部応用理化学科卒クラス会
◇ 10	高校 S 26 全日制電気科電力課程1組卒クラス会	◇ 18	三菱電機会総会
◇ ◇	錦央電機会総会	◇ ◇	大学 S 42 工学部第一部応用理化学科卒クラス会
◇ 18	高校 S 55 全日制機械科卒クラス会	◇ 24	高校 H 14 全日制普通科卒合同クラス会
◇ 22	東管支部東京北電機会総会	◇ ◇	大学 S 29 工学部第一部電気工学科卒クラス会
◇ 24	大学 S 50 工学部第一部建築学科卒クラス会		
◇ 28	東管支部千葉電機会総会		